

「有償で演奏活動をしていきたい」と

思っているあなたへ

～無料で引き受けてしまう悩みから抜け出すために～

はじめに

このPDFを開いてくださり、ありがとうございます。

もしかするとあなたは今、
こんな気持ちを抱えていませんか？

- ・頼まれると断れず、つい無料で演奏してしまう
- ・本当は少ししんどいけれど、言い出せない
- ・「お金の話をするのが苦手」と感じている

もしひとつでも当てはまったら、
この内容はきっとお役に立てると思います。

無料で引き受けてしまうのは、あなただけではありません

「無料でいいですよ」
「今回は大丈夫です」

そうってしまうのは、
あなたが優しいから。
そして、音楽を大切にしているからです。

特に多いのは、

- ・顔見知りの方
- ・紹介でつながった方
- ・地域のつながりの中でのお話

断りづらい関係だからこそ、
気づいたら“無料”が当たり前になってしまうのです。

無料が続くと、心が少し疲れてしまいます

最初は「喜んでもらえたらそれでいい」と思っている、

- ・準備に時間がかかる
- ・移動や体力的な負担がある
- ・でも感謝だけで終わる

そんなことが続くと、
音楽そのものが少し苦しくなってしまいます。

それは、あなたが悪いのではありません。

大切なのは「断る」ことではありません

必要なのは、強く断ることも、
気まずくなることでもありません。

「私は、こういう形で活動しています」
と伝えること。

それだけで、相手の受け取り方は大きく変わります。

無償演奏から、有償演奏へ。自然に切り替えるためのステップ

① まずは事実をやさしく伝える

「実は、普段はお仕事としてお受けしていて…」

② 次に、見せるものを用意する

「こちらに内容をまとめているので、よかったら見てみてください」

(料金や活動内容をまとめたWEBページ)

③ 最後は、判断を相手に委ねる

「もしご予算が合えば、改めてご案内できますよ」

この一言を添えるだけで、
無理に売り込まなくても大丈夫になります。

相手は
「一度持ち帰って考える」ことができ、
こちらにも気まずくなりません。

その結果、
“お願いベース”ではなく、
「予算として検討してもらえる有償演奏」へと自然に変わっていきます。

大切なのは「言い方」より「準備」

うまく話そうとしなくて大丈夫です。

- ・料金や内容が整理されていること
- ・自分がどういうスタンスで活動しているかが伝わること

それだけで、心はずっと楽になります。

有償で演奏活動を続けるために

有償で演奏することは、
特別な人だけのものではありません。

あなたの経験も、時間も、音楽も、
きちんと価値があります。

「有償でやっていきたい」と思うことは、
わがままでも、欲張りでもありません。

最後に

もし今、

- ・どう伝えたらいいかわからない
- ・自分の場合はどうしたらいいのか迷っている
- ・無理なく続けられる形を知りたい

そう感じていたら、

「有償で演奏活動をしていきたい」
と、公式LINEに送ってください。

- ・どう伝えればいいか
- ・料金の考え方
- ・無理なく続ける形

あなたの状況に合わせて、一緒に整理します。

あなたの音楽が、
ちゃんと大切にされる形になりますように。

演奏活動サポート
森口九喜子